

○日本造船の生産量の増加、輸出の拡大による経済成長の押し上げと、海運のニーズに対応した船舶建造のスピードアップと品質向上に向けて、一人あたりの生産量で表される造船現場の生産性の50%増加を図るべく、IoT や自動化技術等を活用した革新的な生産技術の開発・実用化に挑戦する事業者を支援(1/2補助)する。

造船における生産工程

数百～数千もの人の手に委ねられる、数十～数百万点の部品の管理・組立。

船舶は単品で受注・生産するため、自動化が難しく、現状では平板切断や直線溶接のみ自動化。

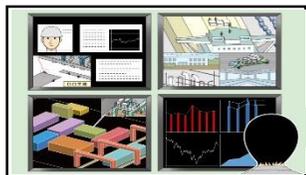


革新的生産技術の導入例(イメージ)

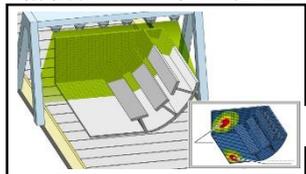
生産性向上が成長の重要課題

革新的な生産技術やシステムの開発を支援(補助率1/2)

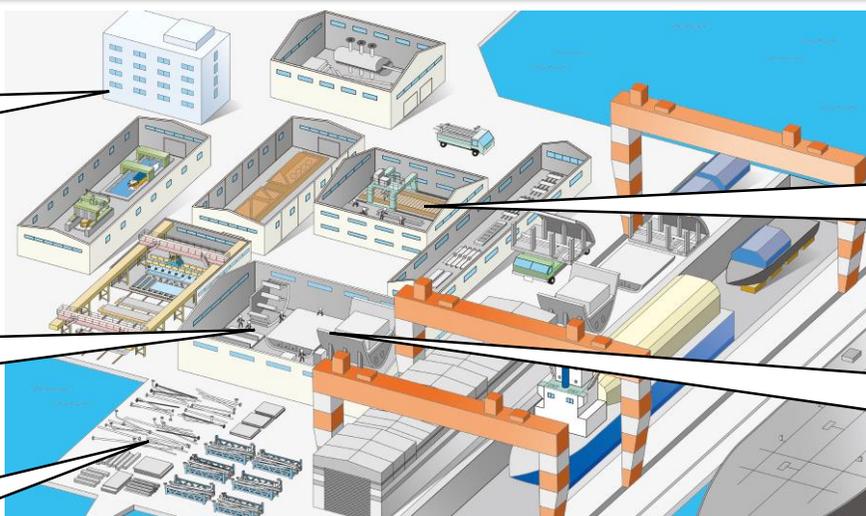
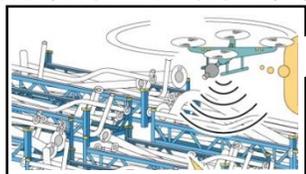
情報技術によるヒト・モノの一元管理(見える化)でムダ・ムリ・ムラを排除



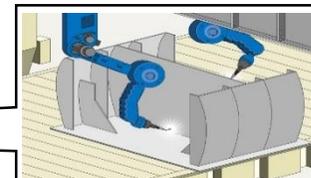
レーザ等を活用した部品寸法等の精度管理で手直工程ゼロ



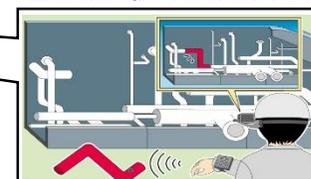
ICタグ・センサやドローン等を活用した部材管理で工程管理高度化



3次元図面を基に作業するAI自動溶接ロボットによる溶接作業効率の飛躍的向上



情報端末等を活用した3D図面による組立作業支援で作業効率向上



現場生産性(一人あたりの生産量) 50%増を目指す

我が国の造船の成長、国際競争力の強化